

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	奈良県病院協会看護専門学校
設置者名	一般社団法人奈良県病院協会

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
看護専門課程 ／3年課程	看護	夜・通信	69 単位	9 単位	
		夜・通信			
		夜・通信			
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

来校の上、請求があれば、シラバスを校内で開示する

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名 なし
(困難である理由)

様式第2号の2-②【(2)-②外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置】

※ 様式第2号の2-①に掲げる法人以外の設置者（公益財団法人、公益社団法人、医療法人、社会福祉法人、独立行政法人、個人等）は、この様式を用いること。

学校名	奈良県病院協会看護専門学校
設置者名	一般社団法人奈良県病院協会

1. 大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織

名称	学校関係者評価委員会
役割	2020年4月1日までに外部人材の意見を反映することができる組織に関する規程の整備を確実に実施する

2. 外部人材である構成員の一覧表

前職又は現職	任期	備考（学校と関連する経歴等）
(備考) 2020年4月1日までに複数の外部人材の選任を確実に実施する		

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	奈良県病院協会看護専門学校
設置者名	一般社団法人奈良県病院協会

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p>									
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>次年度の講師依頼は、今年度10月ぐらいから依頼し、決定し次第シラバスを依頼して3月末までにシラバスの提出依頼をする。</p> <p>4月の始めに冊子を作製して始講日に学生に配布</p> <p>4月の始め頃に来校の上、請求があれば開示</p>									
授業計画書の公表方法	学習の手引き学生に配布及び来校の上請求されたら学習の手引き開示する								
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>									
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>学則</p> <p>授業科目の評価は、授業科目毎に出席すべき時間数の3分の2以上出席した学生について、学科試験及び実習の成績により行う。</p> <table style="margin-left: 40px;"> <tr> <td>80点以上</td> <td>優</td> </tr> <tr> <td>70点以上80点未満</td> <td>良</td> </tr> <tr> <td>60点以上70点未満</td> <td>可</td> </tr> <tr> <td>60点未満</td> <td>不可</td> </tr> </table> <p>単位認定は、授業科目及び出席状況の評価をもって行う。</p>		80点以上	優	70点以上80点未満	良	60点以上70点未満	可	60点未満	不可
80点以上	優								
70点以上80点未満	良								
60点以上70点未満	可								
60点未満	不可								

<p>3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>履修科目の成績評価を点数化し、全科目の合計点の平均を算出して成績の分布の把握する。</p>	
客観的な指標の算出方法の公表方法	学則 学生に配布 来校の上請求があれば開示
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>所定の期間在学し、履修規程に定められた授業科目を履修し、所定の単位と時間数を修得するとともに、下記の要件を満たした学生について運営会議の議を経て、専門士の称号を付与する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 医療倫理・看護倫理に基づき、人間の生命・尊厳を尊重した倫理的判断力を身につける 2. 看護の対象者を全人的に捉え、生活する人として理解できる 3. 科学的根拠に基づいた問題解決能力と、看護実践能力を身につけている 4. 基本的な看護技術を安全・安楽に実践できる 5. 看護の役割と責任を自覚し、他者と良好な人間関係を構築し、協働する 6. 自己の知識・技術・態度を評価し、他者からの評価も謙虚に受けとめ、自己研鑽できる能力が身につけている 	
卒業の認定に関する方針の公表方法	学則 学生に配布 来校の上請求があれば学則で開示

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	奈良県病院協会看護専門学校
設置者名	一般社団法人奈良県病院協会

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.narahpa.or.jp/wp-content/uploads/2019/07/h30-taisyaku.pdf
収支計算書又は損益計算書	https://www.narahpa.or.jp/wp-content/uploads/2019/07/a4163f7874a33713302ce2d84749df12.pdf
財産目録	
事業報告書	https://www.narahpa.or.jp/wp-content/uploads/2019/07/h30-jigyoku.pdf
監事による監査報告（書）	https://www.narahpa.or.jp/wp-content/uploads/2019/07/h30-kansa.pdf

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		看護専門	看護	0			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	3015 / 97 単位時間 / 単位	1874 単位時間	学内実習 106 単位時間	1,035 単位時間	単位時間 / 単位	単位時間 / 単位
			単位時間 / 単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120 人		124 人	人	5 人	4 人	9 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 次年度の講師依頼は、今年度10月ぐらいから依頼し、決定し次第シラバスを依頼して3月末までにシラバスの提出依頼をする。 4月の始めに冊子作製して始講日に学生に配布
成績評価の基準・方法
（概要） 授業科目の評価は、授業科目毎に出席すべき時間数の3分の2以上出席した学生について、学科試験及び実習の成績により行う。 ・80点以上 優 ・70点以上80点未満 良 ・60点以上70点未満 可 ・60点未満 不可 履修科目の成績評価を点数化し、全科目の合計点の平均を算出して成績の分布の把握する。
卒業・進級の認定基準

所定の期間在学し、履修規程に定められた授業科目を履修し、所定の単位と時間数を修得するとともに、下記の要件を満たした学生について運営会議の議を経て、専門士の称号を付与する。

1. 医療倫理・看護倫理に基づき、人間の生命・尊厳を尊重した倫理的判断力を身につける
2. 看護の対象者を全人的に捉え、生活する人として理解できる
3. 科学的根拠に基づいた問題解決能力と、看護実践能力を身につけている
4. 基本的な看護技術を安全・安楽に実践できる
5. 看護の役割と責任を自覚し、他者と良好な人間関係を構築し、協働する
6. 自己の知識・技術・態度を評価し、他者からの評価も謙虚に受けとめ、自己研鑽できる能力が身につけている

学修支援等

(概要) ・奈良県病院協会加盟病院奨学金制度 ・奈良県修学資金制度
 ・日本学生支援機構奨学金制度 ・心理カウンセリングなど
 必要に応じて個人相談等

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)

卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
37人 (100%)	人 (%)	37人 (100%)	人 (%)
(主な就職、業界等) 奈良県内の病院			
(就職指導内容) 奨学金説明会、個人相談、就職案内パンフレット等閲覧場所設置			
(主な学修成果 (資格・検定等)) ・ 専門士 (医療専門課程) ・ 看護師国家試験受験資格 ・ 保健師・助産師養成課程受験資格			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状

年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
126人	5人	4.0%
(中途退学の主な理由) 自己都合 等		
(中退防止・中退者支援のための取組) ・ 心理カウンセリング ・ 個人面談 等		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
看護	300,000 円	660,000 円	500,000 円 100,000 円	施設整備協力費 (入学時) 実習費 (年間)
	円	円	円	
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援 (任意記載事項)				
<ul style="list-style-type: none"> ・ 奈良県病院協会加盟病院奨学金 ・ 奈良県修学資金 ・ 日本学生支援機構 				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) http://kango.narahpa.or.jp/?page_id=1914		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制)		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校長は、自己評価の結果を本校の関係者により組織した学校関係者評価委員会に報告し、意見を聴き、その意見を尊重し、教育活動及び学校運営に活用する。 主な評価項目は、教育理念・目的、教育目標、教育課程経営、教授・学習・評価過程、経営管理過程、入学、卒業・就業・進学、地域社会／国際交流、研究とする。 ・ 評価委員会の構成は、学校長が選任し、本校卒業生 2 名、実習施設等の看護管理者 2 名、高等学校長 (又はその経験者) 1 名、看護教育経験者 1 名、就職先看護部長 2 名、大学関係者 (経営担当) 1 名の計 9 名とし、任期は 2 年とする。 ・ 教職員は、学校関係者評価の結果を活用し、教育活動及び学校運営等の質の保証と向上に継続的に努める。 		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
学校関係者評価を確実に実施し、2020 年度からその結果を公表するために委員の選任を行う		
学校関係者評価結果の公表方法		

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)
「2020年度から評価を確実に公表する」

第三者による学校評価 (任意記載事項)

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)
http://kango.narahpa.or.jp/?page_id=298